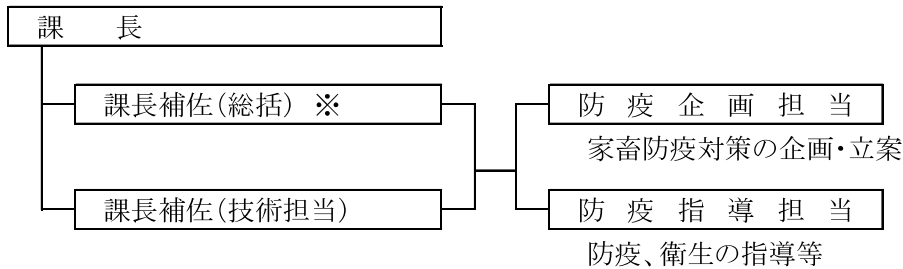


# 家畜防疫対策課

## 1 令和7年度の新規・重点事業

- **家畜防疫業務デジタル化推進事業** 2,953千円【防疫企画担当】  
 家畜保健衛生所獣医師の業務について、クラウドサービスやICT機器の活用による業務効率化を図る。
- **ひなたの獣医師確保修学資金給付事業** 42,590千円【防疫企画担当】  
 県職員獣医師を目指す高校生・獣医系大学生に対し、修学資金を給付する。
- **ひなたを支える獣医師確保事業** 16,323千円【防疫企画担当】  
 県職員獣医師の確保に必要なリクルート活動等に取り組む。
- **家畜防疫体制整備事業** 651,143千円【防疫指導担当】  
 高病原性鳥インフルエンザや豚熱等が発生した際に、まん延防止のため防疫措置を迅速に実施する。また、豚熱の発生予防のため、円滑にワクチンを接種する。

## 2 組織



※ 家畜防疫対策課課長補佐（総括）は、畜産振興課課長補佐（総括）が兼務する。

## 3 主な事業一覧

事業名	終期	R7 予算額 (千円)	担当	掲載 P
●家畜防疫業務デジタル化推進事業	R9	2,953	防疫企画	71
ひなたの獣医師確保修学資金給付事業	R8	42,590	防疫企画	72
ひなたを支える獣医師確保事業	R8	16,323	防疫企画	73
家畜防疫体制整備事業	—	651,143	防疫指導	74
「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業	R8	71,042	防疫指導	75

# 【新】家畜防疫業務デジタル化推進事業

家畜防疫対策課 2,953千円  
【財源：一般財源】

## 事業の目的

家畜保健衛生所獣医師が担う家畜防疫業務のうち、大きな割合を占める農場巡回指導、病性診断について、クラウドサービスやICT機器の活用によるデジタル化を進め、業務効率化を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

#### ① 農場巡回指導効率化

「総合防疫システム(※)」を活用した業務効率化 ※現在開発中で、令和7年度試行、令和8年度稼働  
(改善前) 農場において紙ベースで記録、帰庁後にExcelファイルに入力・集計  
(改善後) 農場でタブレット端末による直接入力、クラウド上で自動集計

#### ② 病性診断迅速化

特定家畜伝染病(口蹄疫、豚熱等)の病性診断用写真撮影の送信時間短縮  
(改善前) 病変部位をデジカメで撮影、タブレット端末へ転送、メール送信  
(改善後) 病変部位をスマホで撮影、メール送信



### (2) 事業の仕組み 県

### (3) 成果指標

業務時間削減	①農場巡回指導	現状(令和5年度)	6,819時間/年	→	令和9年度	4,223時間/年
	②病性診断	現状(過去3年平均)	604時間/年	→	令和9年度	389時間/年

## 事業の期間

令和7年度～令和9年度

# 【別紙】 【新】家畜防疫業務デジタル化推進事業

## ① 農場巡回指導効率化

改善前



紙ベースで記録



帰庁後に  
データの入力・集計



改善後



タブレットに  
直接入力

クラウドサービス  
の活用



データの  
自動集計

## ② 病性診断迅速化

改善前



デジカメで病変部位の撮影  
タブレットに転送



画像を  
メール送信



改善後



スマホで病変部位の撮影  
画像をメール送信

# ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

家畜防疫対策課 42,590千円  
【財源：一般財源】

## 事業の目的

高校生・獣医系大学生に修学資金を給付し獣医師職員を安定確保することで、安全・安心な畜産経営の発展に資する本県防疫レベルの高位平準化の維持及び長期・安定的な公衆衛生行政の体制づくりを図る。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

#### ① 地域枠(新規) (補助率定額)

- ア 対象者 高校生3年生(～卒業後1年)
- イ 給付の種類及び額 ※( )は私立大
  - ・入学準備金(入学金+前期授業料+実習費用等) 55万円(175万円以内)
  - ・修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
- ウ 給付期間 6年間

#### ② 一般枠(拡充) (補助率定額)

- ア 対象者 獣医系大学生
- イ 給付の種類及び額 ※( )は私立大
  - 修学資金 10万円以内/月(18万円以内/月)
- ウ 給付期間 1～6年間

### (2) 事業の仕組み

①②県 補助 → (公社)宮崎県畜産協会 補助 → 修学資金給付者(学生)

### (3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数 現状(令和5年度) 60名 → 令和12年度 68名  
食肉衛生検査所獣医師数 現状(令和5年度) 55名 → 令和12年度 66名

## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

# 【別紙】 ひなたの獣医師確保修学資金給付事業

## ① 地域枠(新規)



宮崎県職員(獣医師)を  
目指す高校生



県による大学入試前  
地域枠選考試験  
※合格すれば大学へ推薦



共通テスト、大学に  
よる地域枠大学入試

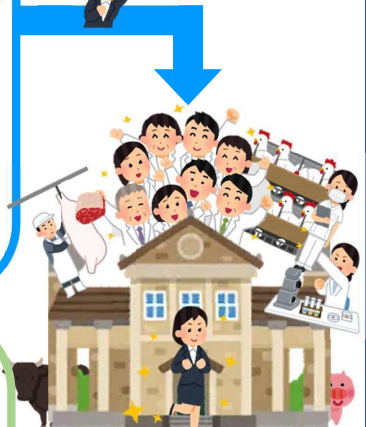
合格



入学前：入学準備金給付  
在学中：修学資金給付  
(6年間) ※注

修学資金

卒業



県庁入庁

## ② 一般枠(拡充)

全獣医系大学



宮崎県職員(獣医師)を  
目指す大学生



県による  
修学資金給付者選考  
※合格者へ給付決定通知



在学中：修学資金給付  
(1～6年間)

修学資金

卒業

※注  
入学準備金：55万円～(175万円以内)  
修学資金：10万円/月(18万円以内)  
( )は私立大対象額

# ひなたを支える獣医師確保事業

家畜防疫対策課 16,323千円  
【財源：一般財源】

## 事業の目的

本県における獣医師不足を解消し、防疫レベルの高位平準化を維持し、安全・安心・安定な畜産経営の発展に寄与するとともに、公衆衛生行政の長期・安定的な施行体制を図り、県民の食の安全、暮らしを支える。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

#### ① 緊急確保等対策

##### ア リクルート活動強化 (補助率定額)

- ・大学生(高学年)対策  
就職説明会
- ・既卒者対策  
求人サイト掲載、就業体験支援

##### イ 業務改善

- ・ICT導入
- ・業務のアウトソーシング等


#### ② 安定確保等対策 (補助率定額)

- ・大学生向けPR(低学年)
- ・県内高校生向けPR
- ・既卒者向けPR
- ・若手職員のリスクリング等

#### ③ 団体推進事務費 (補助率定額)



### (2) 事業の仕組み

①②③県、県  団体(宮崎県獣医師確保推進協議会、(公社)宮崎県畜産協会)

### (3) 成果指標

家畜保健衛生所獣医師数	現状(令和5年度)	60名	→	令和12年度	68名
食肉衛生検査所獣医師数	現状(令和5年度)	55名	→	令和12年度	66名



## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

## 【別紙】

# ひなたを支える獣医師確保事業

みやぎきを  
しる

- ・就職説明会
- ・出張講義
- ・高校生ガイダンス
- ・PR動画配信



みやぎきに  
ふれる

高校生  
大学生  
就業体験



既卒者



修学資金

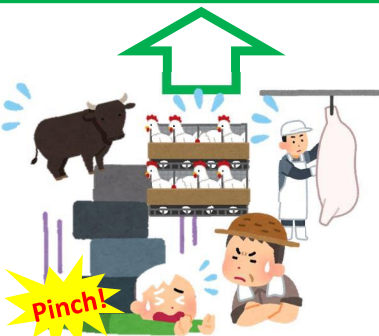
【地域枠】  
【一般枠】

修学資金



みやぎきで  
はたらく  
まなぶ

- ・若手職員の  
リスクリング  
スキルアップ
- ・やりがいづくり
- ・働きやすい環境整備



獣医師不足による畜産王国の  
衰退、食の安全性の低下



獣医師の安定確保・定着



ひなたの畜産の発展  
県民のくらしの安定

# 家畜防疫体制整備事業

家畜防疫対策課 651,143千円  
【財源：国庫、一般財源】

## 事業の目的

家畜伝染病の確定診断前に必要な防疫措置の事前準備に係る経費、及び豚熱の予防的ワクチン接種等に係る経費を確保し、家畜伝染病のまん延防止を図る。

## 事業の概要

- (1) 事業内容
  - ① 発生前対策事業  
家畜伝染病の確定診断前の事前準備に係る経費
  - ② 初動防疫事業  
家畜伝染病の確定診断後の防疫措置に係る経費
  - ③ 豚熱まん延防止対策事業  
豚熱ワクチン接種及び野生いのしし検査強化に係る経費
- (2) 事業の仕組み
  - ①②③県



R6年度 高病原性鳥インフルエンザ発生時の掘削作業

## 事業の期間

平成24年度～

# 「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業

家畜防疫対策課 71,042千円  
【財源：国庫、一般財源】

## 事業の目的

国内外における口蹄疫等の家畜伝染病の継続的な発生及び農場の大規模化に対応し得るバイオセキュリティレベルの高い家畜防疫体制を維持するため、「防疫の4本柱」を中心とした対策の拡充を図る。

## 事業の概要

### (1) 事業内容

- ① 水際防疫サポート事業（補助率1/2）  
水際防疫協定締結団体等への防疫資材の支援
- ② 地域防疫サポート事業（補助率定額）  
ア 家畜防疫システムに係る農場基礎情報（定期報告）の収集  
イ 市町村自衛防疫推進協議会への支援
- ③ 農場防疫維持強化事業（補助率1/2）  
ア 規模拡大農場等への指導強化（衛生管理マニュアル見直し、分割管理等）  
イ 消安交付金による農場バイオセキュリティレベル向上のための支援
- ④ 迅速な防疫措置体制強化事業  
若手職員の防疫リーダー育成研修の開催、中～大規模農場への防疫計画の策定拡充



### (2) 事業の仕組み



### (3) 成果指標

防疫計画の策定 現状（令和4年度）19% → 令和8年度 100%

## 事業の期間

令和6年度～令和8年度

## 【別紙】 「4本柱」で支えるひなた家畜防疫体制事業

### ① 水際防疫サポート事業

水際団体への防疫資材の支援  
・ 野生動物対策の啓発活動



### ② 地域防疫サポート事業

防疫システムの農場基礎情報の収集  
・ 地域防疫活動への支援



### ③ 農場防疫維持強化事業

- ・ 規模拡大農場等への指導・助言（衛生管理マニュアル・分割管理等）
- ・ 農場防疫資材導入等の支援



### ④ 迅速な防疫措置体制強化事業

- ・ 防疫リーダー育成研修の開催
- ・ 中～大規模農場の防疫計画の策定

